

SpamSieve 3 説明書

SpamSieveのインストール

必ず「アプリケーション」フォルダに入れて下さい。

Mac OS 10.14以降のユーザー様

フルディスクアクセスの設定を確認して下さい。

1. システム環境設定でセキュリティとプライバシー画面を開き「プライバシー」タブを選択します。
2. サービスのリストで「フルディスクアクセス」を選択します。
3. 編集可能にするために左下の鍵アイコンをクリックします。
4. macOSの管理者パスワードを入力します。
5. 「SpamSieve」が右側のリストに表示されていない場合は「+」アイコンをクリックしてSpamSieveのアプリケーションアイコンを選択します。



SpamSieveの起動

SpamSieveのアイコンをダブルクリックして下さい。



メールソフトの設定をしますと、メールソフトが起動するたびにSpamSieveも自動適に起動します。

ご利用のメールソフトが自動的に立ち上がらない場合はメールソフトを起動して下さい。

体験版について

体験版は30日間までご利用できます。その後のご利用のためにはシリアル番号を入力する必要があります。「SpamSieve」メニューの「購入」をクリックしてから、「オンライン購入」をクリックして下さい。「SpamSieve」の製品ページに接続されます。

シリアル番号の入力

「SpamSieve」メニューから「購入」を選んで下さい。

ご購入後、注文確認メールの名前とシリアル番号を入力し、登録ボタンをクリックして下さい。

名前:	<input type="text" value="名前 (お知らせした通りに正確に)"/>
シリアル番号:	<input type="text" value="aaaaaa1111-2222-3333-4444-5555-6666"/>

注文確認メールを見つけることができない場合は、オンラインでシリアル番号を調べることができます。

ご購入後に送信されたメールに記載されている情報を入れて下さい。

名前：ここに入れる情報はお名前ではなくてご購入の際のメールアドレスになります。

macOS でアプリが起動しない場合

アプリケーション ファイルをダブルクリックして起動すると、macOS が[誤って次のように報告する](#)場合があります。

- 「『SpamSieve』が破損していて開けられません。ゴミ箱に移動してください。」
- 「開発者を確認できないため、「SpamSieve」を開けません。macOS では、このアプリにマルウェアが含まれていないことを確認できません。」

SpamSieve-3.0.dmg ファイルはエラーなく開かれ、マウントされたため、アプリが破損する可能性は低いです。SpamSieve アプリケーション ファイルは、開発者 ID 証明書で署名され、Apple によって[公証されています](#)。必要に応じて、[これを手動で確認する](#)こともできます。これにより、アプリが破損していないことも確認されます。代わりに、Web ブラウザがSpamSieve-3.0.dmg ファイルをダウンロードしたときにこのファイルに追加されたメタデータによって macOS が混乱しているようです。メタデータが間違っているか、メタデータを検証するときに macOS でエラーが発生しています (おそらく Apple サーバーの一時的な問題が原因です)。

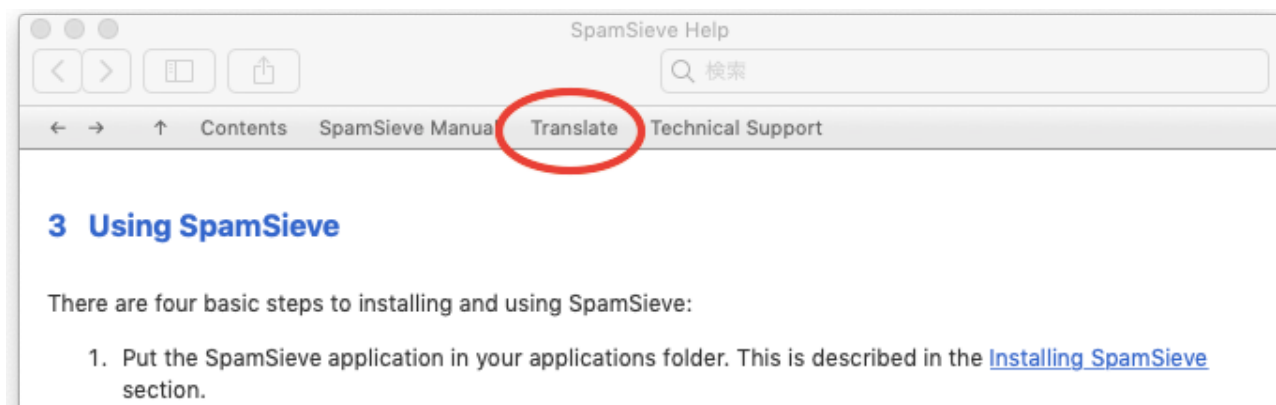
[この問題は、別の方法](#)(メタデータを回避する)でアプリをダウンロードすることで回避できます。まず、アプリケーションフォルダーのユーティリティフォルダーにあるターミナル アプリを開きます。次に、このコマンドを入力し (すべて行上で)、Return キーを押します。

```
cd ~/ダウンロード/ &&curl -LO 'https://c-command.com/downloads/  
SpamSieve-current.dmg'
```

SpamSieveヘルプの自動翻訳

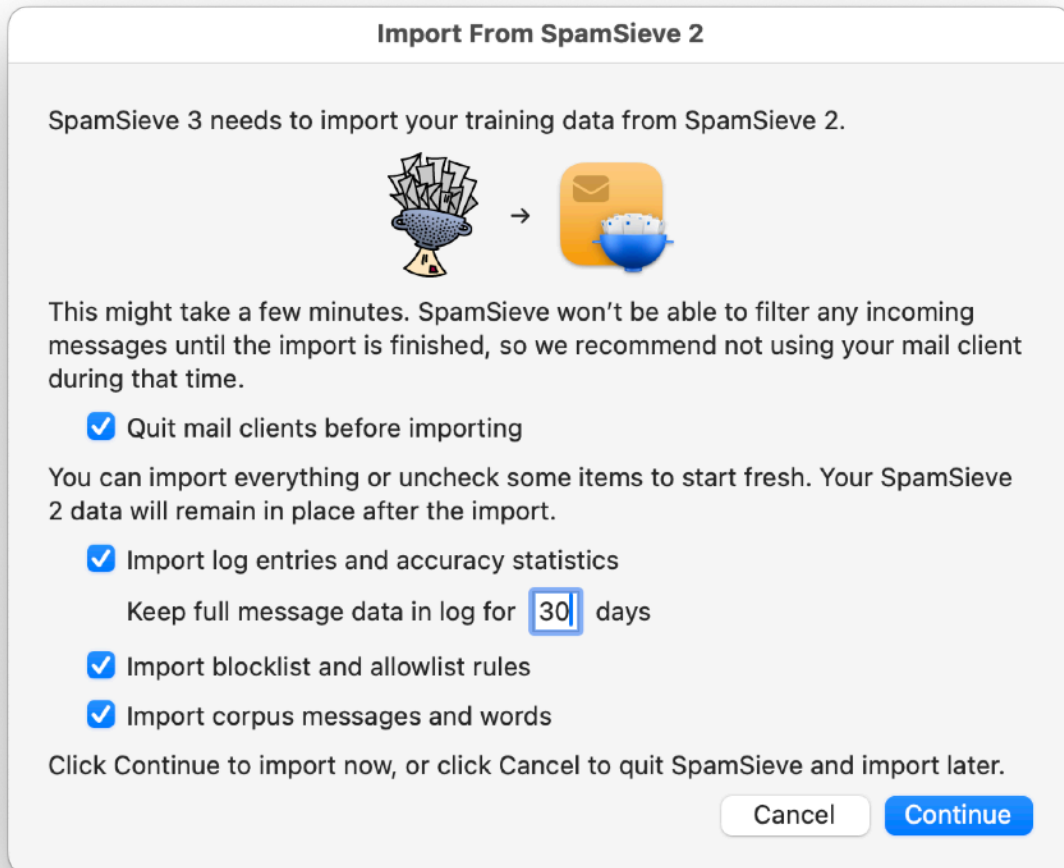
SpamSieveの「ヘルプ」メニューから「SpamSieveヘルプ」を選ぶと英語のヘルプウィンドウが表示されます。

ウィンドウの上にある「Translate」を選択するとブラウザが立ち上げ、日本語に訳されたテキストが表示されます。

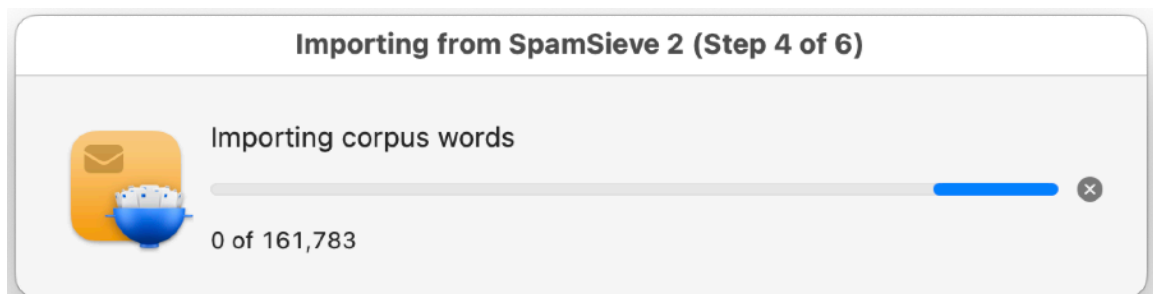


バージョン2からのアップデート

初めて SpamSieve 3 を起動すると、すべての SpamSieve 2 データをインポートするよう提案されます。



トレーニングおよびフィルタリングしたメッセージの数に応じて、これには数分かかる場合があります。



繰り返される更新プロンプト


更新した後でも、SpamSieve が新しいバージョンが利用可能であることを通知し続ける場合は、Mac のどこかに古いバージョンが残っている可能性があります。SpamSieve のコピーは 1 つだけインストールされ、[アプリケーション フォルダーに直接](#)保存される必要があります。SpamSieve を更新する必要があることを示すウィンドウが表示された場合は、Dock の SpamSieve アイコンを Command キーを押しながらクリックします。これにより、Finder に SpamSieve.app ファイルの場所が表示されるので、古いバージョンがどこにあるかを確認して削除できるようになります (SpamSieve を終了した後)。

SpamSieveの使用

SpamSieve をインストールして使用するには、次の 4 つの基本的な手順があります。

1. SpamSieve アプリケーションをアプリケーション フォルダーに置きます。[これについては、「SpamSieve のインストール」](#)セクションで説明されています。
2. SpamSieve を使用してメールをフィルタリングするようにメール プログラムを設定します。[これについては、「Apple Mail のセットアップ」](#)セクションと [「Outlook のセットアップ」](#)セクション、および以下の他のセクションと [「従来のメール プログラム」](#)セクションで説明されています。
3. [「初期トレーニングを行う」](#)セクションで説明されているように、スパムと適切なメッセージのいくつかの例を使用して SpamSieve をトレーニングします。(この手順はオプションですが、強くお勧めします。保存されたスパム メッセージがない場合はスキップできます。)



SpamSieve のメニュー バー アイコン  を使用して、Apple Mail または Outlook 内から SpamSieve をトレーニングできます。Dock アイコンが非表示になっている場合は、そこから SpamSieve のすべてのメニュー コマンドにアクセスできます。

アイコンを表示するのに十分なスペースがない場合 (たとえば、他のメニュー バー アイコンのため)、Dock アイコン メニューから、またはキーボード ショートカットの Command-Control-S (「スパムとしてトレーニング」) および Command-Control-G (「正常としてトレーニング」) を使用して、SpamSieve をトレーニングできます。

4. 新しいメールが到着すると、SpamSieve が自動的に起動します。各受信メッセージを検査し、スパム メッセージを別のメールボックスに移動します。SpamSieve の精度を高く保つには、受信トレイで見つかったスパム メッセージ、またはスパム メールボックスで見つかった適切なメッセージについて、SpamSieve に通知する必要があります。これについては、[「すべての間違いを修正する」](#)セクションで

説明されています。

SpamSieve の[ヘルプ]メニューに移動し、[**SpamSieve の設定と使用**]を選択すると、いつでもこのページに戻ることができます。[ヘルプ]メニューには、このマニュアルの PDF バージョンも含まれており、検索や印刷が簡単です。

このマニュアルの残りの部分には、SpamSieve の仕組みとカスタマイズ方法についての詳細な情報が含まれています。質問がある場合は、おそらくここで答えられるでしょう。ただし、ほとんどのユーザーが SpamSieve を効果的に使用するには、上記の 4 つの手順に従うだけで済みます。

- [3.1 Apple Mail のセットアップ](#)
- [3.2 Apple Mail \(プラグイン\) のセットアップ](#)
- [3.3 エアメールの設定](#)
- [3.4 GyazMail のセットアップ](#)
- [3.5 MailMateのセットアップ](#)
- [3.6 Mailsmith のセットアップ](#)
- [3.7 Outlookのセットアップ](#)
- [3.8 Outlook のセットアップ \(大規模な受信トレイ\)](#)
- [3.9 PowerMail のセットアップ](#)
- [3.10 Gmail、iCloud、Yahoo、AOL、またはその他の Web メール のセットアップ](#)
- [3.11 他のメールクライアントのセットアップ](#)
- [3.12 初期トレーニングを行う](#)
- [3.13 すべての間違いを修正する](#)
- [3.14 SpamSieve と複数の Mac](#)
- [3.15 iPhoneのスパムフィルタリング](#)

初期トレーニングを行う

SpamSieve には、明確な「トレーニング」モードと「作業」モードがありません。インストールするとすぐに、表示されるメッセージから常に学習し、見つかったスパムを常に除外します。

SpamSieve をすぐに使い始めて、[間違いを修正する](#)だけでも構いませんが、古いメールの一部を使用して初期トレーニングを行うと、より適切にフィルタリングできます。これは単に、スパムとみなされるメッセージとそうでないメッセージの例をいくつか与えることを意味します。これを行うには、メール プログラムでいくつかのメッセージを選択し、メニューからトレーニング コマンドを選択します。Apple Mail および Outlook の場合は、[SpamSieve メニュー バー アイコン](#)から[正常としてトレーニング]または[スパムとしてトレーニング]を選択します。他のクライアントについては、メール プログラムの「[セットアップ](#)」セクションを参照してください。



SpamSieve は、トレーニングされたメッセージから情報を収集してコーパスに取り込み、後続のメッセージがスパムかどうかを予測するために使用します。

SpamSieve をトレーニングするメッセージの数は、古いメッセージの数と、プロセスに費やす時間によって異なります。ほとんどの人にとって、195 件のスパム メッセージと 105 件の代表的な正常なメッセージがあれば、非常に高い精度を得るのに十分ですが、それほど多くなくても問題ありません。重要な点は次のとおりです。

1,000 を超えるメッセージは使用しないでください。

初期トレーニングで最大 1,000 件の最近のメッセージを使用すると、SpamSieve は高レベルの精度で開始できます。一般に、SpamSieve をトレーニングするメッセージの数が増えるほど、その精度は向上します。ただし、最初に 1,000 を超えるメッセージを使用すると、SpamSieve のコーパスが古いメッセージで「いっぱい」になり、将来受信する新しい種類のスパムに適応するのが遅くなり、効果が低くなります。

メッセージは約 65% がスパムであるはずです。

たとえば、650 個のスパムと 350 個の正常なメッセージ、または 65 個のスパムと 35 個の正常なメッセージを使用します。推奨される割合から逸脱するよりも、最初のトレーニングで使用するメッセージの数を減らす (つまり、保存されているメールをすべて使用しない) 方が良いでしょう。たとえば、正常なメッセージが 500 件あり、保存されているスパム メッセージが 195 件しかない場合は、695 件すべてのメッセージを使用して SpamSieve をトレーニングしないでください。代わりに、195 個のスパムと約 105 個の代表的な正常なメッセージを使用してトレーニングします。

進行状況を監視するには、SpamSieve の[[ウィンドウ](#)]メニューに移動し、[\[統計\]](#)を選択します。[\[統計\]](#)ウィンドウの中央にあるコーパス セクションには、SpamSieve がトレーニングされた正常なメッセージとスパム メッセージの数、およびそれらのスパムの割合が表示されます。最初のトレーニングの後、SpamSieve は[自動的にトレーニングを行うため](#)、間違いを修正するためにトレーニングするだけで済みます。

最初のトレーニングの後には、コーパス内のメッセージの数や割合を気にする必要はありません。SpamSieve は、新しいメッセージが到着すると自動的に学習し、コーパスのバランスを適切に保ちます。

時間の経過とともに精度は向上しますが、最初のトレーニングで少なくとも 100 件程度のメッセージを使用した場合、SpamSieve は受信したスパム メッセージの一部をすぐに迷惑メールボックスに移動し始めるはずですが、結果がすぐに表示されない場合は、メールプログラムの[設定を確認してください](#)。コーパスに各タイプのメッセージが数百個追加されると、SpamSieve はほとんどのスパムを捕捉するはずですが。

これで SpamSieve の設定は完了です。「[すべての間違いを修正する](#)」セクションでは、SpamSieve が間違ったメールボックスにメッセージを入れたかどうかを通知することで、SpamSieve の精度を高く保つ方法について説明します。

すべての間違いを修正する

SpamSieve は各受信メッセージを検査し、スパム メッセージを別のスパム メールボックスに移動します。良好なメッセージはそのまま残されるため、受信トレイに残るか、他のメール ルールによって処理されます。SpamSieve の精度を高く保つには、SpamSieve が犯した間違いを修正する必要があります。

- スпам メールボックスにないスパム メッセージを見つけた場合は、それをスパムとしてトレーニングします。
- スпамメールボックスで正常なメッセージを見つけた場合は、それを適切なものとしてトレーニングします。

通常、[SpamSieve のホワイトリストのトレーニング](#)と[SpamSieve ブロックリストのトレーニング](#)設定は有効になっています。これは、単一のメッセージを良好なものとしてトレーニングすると、SpamSieve がそのメッセージの送信者からの将来のすべてのメッセージを良好なものとして分類することを意味します。同様に、メッセージをスパムとしてトレーニングすると、SpamSieve はそのメッセージの送信者からの今後のすべてのメッセージをスパムとして分類します。通常、[ベイジアン分類器のトレーニング](#)設定も有効になっており、これにより、SpamSieve はメッセージの内容から学習して、送信者が異なっても将来の類似メッセージを認識できるようになります。

間違いを正す方法

間違いを修正するには、メール プログラムでメッセージを選択し、メニューからトレーニング コマンドを選択します。Apple Mail および Outlook の場合は、[SpamSieve メニューバー アイコン](#)から**[正常としてトレーニング]**または**[スパムとしてトレーニング]**を選択します。他のクライアントについては、メール プログラムの「[セットアップ](#)」セクションを[参照してください](#)。常に、指定されたメニュー コマンド (またはキーボード ショートカット) を使用して SpamSieve をトレーニングします。SpamSieve がバイパスされるため、自分でメッセージを迷惑メールボックスに移動したり、迷惑メールボックスから移動したりしないでください。



すべての間違いを正す

SpamSieve の間違いはすべて修正する必要があります。修正しないと、時間の経過とともに精度が低下します。その理由は、SpamSieve は、特に指示しない限り、メッセージが正しく分類されたと想定し、(必要に応じて自動トレーニング設定をオフにしない限り) その想定に基づいて学習するためです。また、SpamSieve を修正するのは早ければ早いほど良いでしょう。[SpamSieve を速やかに](#)修正することで、SpamSieve が常に正確な情報に基づいて動作するようになります。

メール クライアントで一部のメッセージを見失った場合は、SpamSieve の[ログ](#)ウィンドウと[ユーパス](#)ウィンドウから間違いを修正することもできます。

どのメッセージをトレーニングするか

[最初のトレーニング](#)の後には、間違いではないメッセージを使用して SpamSieve をトレーニングする必要はありません (または推奨されません)。

- 受信箱に届くすべてのスパム メッセージをトレーニングしてください。SpamSieve を混乱させると思われるフィッシング メッセージ、イメージ スпам、および偽の送信者からのメッセージに対しても、これを実行してください。[SpamSieve に真実を伝える](#)のが最善です。
- iPhone の受信トレイからスパム メッセージを削除しないでください。削除すると、SpamSieve は間違いを犯したことが認識されなくなります。Mac に戻ったときにトレーニングするか、[リモート トレーニング セットアップ](#)を使用して iPhone

からトレーニングします。

- SpamSieve が誤ってスパムとして分類した**ジャンク**メールボックス内の適切なメッセージをトレーニングしてください。Apple Mail では、通常、これらのメッセージはメッセージ リスト内で[色付きの背景で表示されます](#)。**iPhone を使用しているときにジャンク**で適切なメッセージを見つけた場合は、Mac に戻ったときにそのメッセージをトレーニングするか、[リモート トレーニング セットアップ](#)を使用して iPhone からトレーニングすることを忘れないでください。
- SpamSieve が自動的にジャンク（スパム）メールボックスに入れるスパム メッセージをトレーニングしないでください。どの[スパム性の色](#)を割り当てたかに関係なく、SpamSieve はすでにそれらがスパムであると認識しています。
- [サーバー フィルター](#)が自動的に検出したメッセージを**迷惑**（スパム）メールボックスまたは**一括メール**メールボックスにトレーニングしないでください。[「Apple Mail のスパム メッセージの色」](#)で説明されているように、Apple Mail では、これらのメッセージにはメッセージ リストの白の背景に茶色/金色/黒のテキストが表示されます。
- 単に迷惑なメッセージ、つまり以下からのメッセージをスパム メッセージとしてトレーニングしないでください。
 - 読みたくない正規のメーリング リスト。
 - お取引のある企業様。
 - 迷惑なメッセージを送信または転送する知り合い。
- これらのメッセージはスパムではないため、そのようにトレーニングすると SpamSieve を混乱させる可能性があります。メーリング リストの場合は、電子メールの下部に購読を解除するための指示があるはずですが、ソーシャル メディア サイトには、送信するメッセージの種類を設定できる方法があります。[他の種類の迷惑メッセージについては、必要に応じてメール プログラムでSpamSieve ルールの上にルールを作成し、SpamSieve がメッセージを認識する前に移動または削除することができます](#)。
- サーバーのスパム フィルターから隔離ダイジェストをトレーニングしないでください。これらのメッセージはスパムではありませんが、スパム的な単語が多数含まれ

ています。[サーバーのスパム フィルターをオフにするか、メール プログラムで SpamSieve ルールの上にルールを作成して、これらのメッセージを SpamSieve が認識する前に別のメールボックスに移動することをお勧めします。](#)

- Gmail の[すべてのメール]、[重要]、または[スター付き]メールボックス内のメッセージをスパムとしてトレーニングしないでください。これらのメッセージは SpamSieve によってフィルタリングされない重複であるためです。詳細については、マニュアルの「[Gmail、iCloud、Yahoo、AOL、またはその他の Web メールの設定アップ](#)」セクションを参照してください。
- SpamSieve が自動作成した不要な[ホワイトリスト ルール](#)や[ブロックリストルール](#)は削除しないでください。代わりに、メッセージをスパムまたは適切なものとしてトレーニングするときに、SpamSieve で一致ルールを自動的に無効にします。

トレーニングを元に戻す

間違いを犯して、実際には問題のないメッセージをスパムであると SpamSieve に伝えた場合 (またはその逆)、SpamSieve を修正するのと同じように自分自身を修正するだけです。つまり、メッセージが良いものであれば、それを良いものとしてトレーニングします。スパムの場合は、スパムとしてトレーニングします。SpamSieve は、以前の間違ったトレーニングを「元に戻します」。

他のスパムフィルターとルールを無効にする

SpamSieve を使用する場合は、Mac にインストールされている他のスパム フィルターをオフにしてください。**メッセージを迷惑**メールボックス、**スパム**メールボックス、またはゴミ箱に移動する作成した手動ルールを無効にします。これにより、SpamSieve がどのメッセージを捕捉し、どのメッセージを捕捉しなかったのかが明確になります。これは、メッセージを適切に修正できるようにするために必要です。これらの手動ルールが本当に必要な場合は、SpamSieve の[ブロックリスト](#)を使用してルールを再作成するか、SpamSieve のルールの上にルールを配置して、SpamSieve がメッセージを認識する前にメッセージが移動または削除されるようにすることができます。